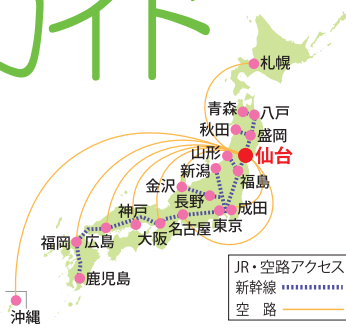


伊達な旅ガイド

Vol.233

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行
いいトコ!
みやぎ
毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



5月7日
放送

宮城のこけし

東北で生まれた、かわいらしいこけし。11系統ある東北のこけしのうち、宮城県には「遠刈田系」「鳴子系」「弥治郎系」「作並系」「肘折系」の5系統のこけしがあります。最近では石巻で作られた創作こけしも登場。これらのこけしには、それぞれ作り手の情熱が込められています。宮城のこけしに出会ってみませんか。



5つのこけしに5つの特徴

遠刈田系
蔵王町の遠刈田で作られているもので、最も古い歴史があるといわれます。頭部にある赤い放射状の飾りが特徴。

鳴子系
鳴子温泉のこけし。はめ込み式で、首を回すとキキキと音が鳴ります。水引で結んだような前髪が特徴。

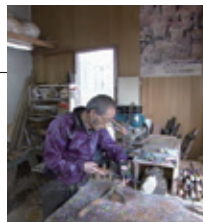
弥治郎系
白石市で作られているのが弥治郎系。頭が大きく、ベレー帽のようなろくろ模様が特徴です。

作並系
仙台市青葉区の作並温泉にあるのが作並系。細い胴と、カニ菊と呼ばれる模様が特徴です。

肘折系
山形県肘折温泉で発生したこけし。胴が太く、肩が張っていて、独特の目鼻立ちにおかつ頭、真っ赤な大柄の髪飾りなどが特徴です。

肘折系の伝統こけし

こけし工房 さんぱく
Tel.022-278-7787
黄綬褒章を受章したこけし作りの名人が肘折系の伝統を、仙台で受け継いでいます。



こけし工人 佐藤 昭一さん
「伝統あるこけしの魅力は、出来上がっている美です。伝統は時代を経るごとに淘汰され、新しいものを吸収してきています。だから、自分も一つ追加してみようという考えでした」



石巻の創作こけし

Tree Tree Ishinomaki
Tel.090-6629-5151(林さんの工房)
石巻の創作こけしは、林さんが伝統こけしの工人から製法を学び、工房兼アトリエで作ってきたもの。昨年、全日本こけしコンクールで「仙台商工会議所会頭賞」を受賞。



こけし工人 林 貴文さん
(林屋呉服店 若主人)
「何か新しいことやって、お客さんを呼ぶ仕組みを作りたいと思っていました。震災があって、これはいよいよやらなければいけないと考え、お土産として売ればと、こけし作りを始めました」



石巻こけしの特徴
赤と青と白で海をイメージ。髪飾りの模様は、豊かな漁場である石巻らしい魚の模様になっています。

林さん
意気込みとしては、東北の12番目の伝統こけし入りというくらいのクオリティを求めていかないとお客さまを納得させられないだろうと考えています。